

「令和元年度弘前大学 被ばく医療プロフェッショナル 修了後研修」講演会

「東京電力福島第一原子力発電所事故による
放射線に係る住民の健康管理・健康不安対策について」

概要

東日本大震災から8年余りが経過し、帰還困難区域を除くほとんどの地域の避難指示解除が実現するなど、福島の復興・再生に向けた動きが本格的に始まっています。県民健康調査やリスクコミュニケーションについてご紹介することにより、放射線健康管理に関する福島の現状、被災者や地域の方々のニーズの多様化やその中で求められる支援のあり方、放射線の健康影響などについて考えていただく際のご参考になればと思います。

講師 : **笠松 淳也 氏**

環境省大臣官房環境保健部放射線健康管理担当 参事官

日時 : **令和元年7月19日(金)**
14:00~15:05

会場 : **保健学研究科F棟1階**
【大学院講義室1】

対象 : 学生・教職員どなたでも。事前申込不要

共催 : 弘前大学大学院保健学研究科被ばく医療人材育成推進委員会
放射線リスクコミュニケーション教育部門
弘前大学被ばく医療総合研究所

お問い合わせ 保健学研究科 桑田 TEL:0172-39-5518 kuwata@hirosaki-u.ac.jp